



夏の感染症に気をつけよう



夏場になると、子どもと一緒にプールに行く機会が増えると思います。涼しく、そして楽しく遊べるプールは、子どもも大人も大好きだと思いますが、注意することがあります。夏の遊びの定番の一つのプールには、危険な病が潜んでいることがあるからです。例えば・・・咽頭結膜熱（アデノウイルス感染症・プール熱）、流行性角結膜炎（はやり目）、伝染性軟属腫（水イボ）、アタマジラミです。

咽頭結膜熱（プール熱）

- ★アデノウイルスが原因で、39～40℃の高熱が4～5日続く
- ★のどの痛みが強い
- ★目の充血
- ★頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うことも

流行性角結膜炎（はやり目）

- ★アデノウイルスの感染によって起こる結膜炎
- ★目の充血
- ★目やに（ひどいと目が開かないほどに）
- ★涙目

伝染性軟属腫（水イボ）

- ★丸く光沢のあるイボ
- ★つぶすと白い固まりや液体が出てくる。この中にウイルスがたくさん含まれているので、これがつくとうつってしまう

アタマジラミ

- ★集団生活で髪の毛の接触によって感染する
- ★ロッカーや脱衣籠にシラミが落ち、そこから感染することもある

すべての症状に言えることは、プールに入る前と入った後、またトイレに行った後は必ずシャワーを浴び、できれば石鹸などを使用してきれいに洗ってください。

プールの水ではうつらないとされていても、感染者と接触することでうつってしまうものも多くあります。また、とびひや水イボ、手足口病など、いずれもタオルや遊具の共有を避け、ゴーグルの着用と手洗いやうがい、感染率を下げるができますので、日ごろから手洗いやうがいの習慣を身につけましょう。



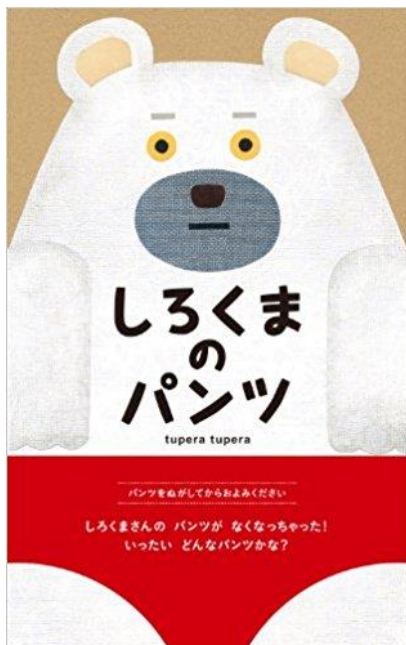
診察の予約方法

当日予約制 電話とインターネットで取れます。

※インターネットで希望の時間に予約が取れない場合でも、電話予約枠がありますので、電話にてお問い合わせください。



【 しろくまのパンツ 】



「どこにいったんだろう？」パンツをなくして困っているしろくまさんと、それを心配しているネズミさんが一緒にパンツを探しに行くところからこの絵本は始まります。

しろくまさんやネズミさん以外にも、たくさんのかわいい動物に会うことができます。仕掛け絵本になっているので、遊び心あふれるとても楽しい内容になっています。物語の最後には、あっと驚く衝撃の結末が・・・！

ぜひ読んでみてください。

作 tupera tupera



今号のスタッフ一言日記



夏です。夏休みです。夏の思い出といえば、子どもの頃母の実家。岩手で過ごした日々を思い出します。山に囲まれ、裏手には川が流れている田舎でした。近くには共同で使用できる井戸水があり、バケツにスイカを入れ冷たい井戸水で冷やし食べた記憶があります。昼は川で魚を釣ったり、夜は満点の星空の下で花火をしたり、川に行ってホタルを捕まえたりと、毎日遊んでいました。今でも、田舎で過ごした日々を忘れてはいません。

医事課

金子 英恵